

内分泌代謝科

1. スタッフ（平成24年4月1日現在）

科 長（教 授） 石橋 俊
 副 科 長（准教授） 大須賀淳一
 外来医長（講 師） 野牛 宏晃
 病棟医長（病院助教）岡田 修和
 医 員（学内准教授）長坂昌一郎
 （助 教） 岡田 健太
 安藤 明彦
 病院助教 高橋 仁麗
 齋藤奈緒子
 出口亜希子
 永島 秀一
 シニアレジデント 7名

2. 診療科の特徴

内分泌代謝疾患のうち内科領域で診療すべき疾患群を中心に診療を展開している。外来診療においては糖尿病の血糖管理と合併症予防の占める比重が高い、次いで各種甲状腺疾患（Basedow病、腫瘍）の治療が多い。

入院診療もほぼ同様であるが、糖尿病の血糖コントロール不良例に対するインスリン・GLP-1アナログ製剤による治療導入、急性合併症である高血糖昏睡・足壊疽等の感染症治療・進行した腎症に対する透析前後の全身管理、周術期・妊娠中の血糖コントロール等が糖尿病関連の入院目的として多い。内分泌疾患の中ではBasedow病が多く。その入院目的として、放射性ヨード内用療法が多い。

腫瘍性内分泌疾患の確定診断と手術治療適応決定を目的に入院する疾患として、原発性副甲状腺機能亢進症、原発性アルドステロン症、下垂体腺腫（Cushing病、先端巨大症、非機能性）等が多い。

2011年度に参加した主な多施設共同研究には、「糖尿病予防のための戦略研究 課題3（J-DOIT3）：2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験」、「糖尿病における合併症の実態把握とその治療に関するデータベース構築による大規模前向き研究」（JDCCP）、糖尿病性腎症の寛解を目指したチーム医療による集約的治療（DNETT-JAPAN）、早期糖尿病の進展抑制に関する無作為化比較臨床試験（JEDIS）、糖尿病網膜症合併高コレステロール血症患者を対象としたスタチンによるLDLコレステロール低下療法の比較研究（EMPATHY）等がある。

・認定施設

日本糖尿病学会認定教育施設

日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設

日本肥満学会認定肥満症専門病院

・認定医

日本内科学会認定内科医	石橋 俊 他11名
日本内科学会総合内科専門医	石橋 俊 長坂昌一郎 大須賀淳一 野牛 宏晃
日本糖尿病学会専門医	石橋 俊 他9名
日本糖尿病学会研修指導医	石橋 俊 長坂昌一郎 岡田 健太
日本内分泌学会内分泌代謝科（内科）専門医	石橋 俊 長坂昌一郎 野牛 宏晃 岡田 健太 安藤 明彦 高橋 仁麗
日本内分泌学会内分泌代謝科（内科）指導医	石橋 俊 長坂昌一郎

3. 診療実績・クリニカルインディケータ

1) 新来患者数・再来患者数

新来患者数	934人
再来患者数	34,062人
紹介率	69.5%

2) 入院患者数（病名別）

病 名	患者数
糖代謝異常	
糖尿病	465
病型分類	
1型糖尿病	46
2型糖尿病	382
その他の糖尿病	37
主な合併症	
急性合併症	26
妊娠	6
足病変	8
感染症	29

慢性肝疾患	33
慢性腎不全	31
悪性腫瘍	83
虚血性心疾患	50
低血糖	12
脳血管障害	52
ネフローゼ	22
精神疾患	41
境界型	6
妊娠糖尿病	40
甲状腺・副甲状腺疾患	
Basedow病	49
原発性副甲状腺機能亢進症	1
副腎疾患	
副腎偶発腫	21
Cushing症候群	2
Preclinical Cushing症候群	6
副腎皮質機能不全	8
原発性アルドステロン症	22
褐色細胞腫	1
視床下部下垂体疾患	
汎下垂体機能低下症	3
先端巨大症	6
プラクチノーマ	2
尿崩症	4
成長ホルモン分泌不全症	2
汎下垂体前葉機能低下症	10
ACTH単独欠損症	1
性腺機能低下症	7
電解質異常	
低ナトリウム血症	3
低カリウム血症	8
高カルシウム血症	1
高血圧症	2
脂質異常症	1
インスリノーマ	1
摂食障害	3
多発性内分泌腫瘍 II 型	1
高度肥満症	18

3) 手術症例病名別件数

(内分泌疾患の診断後に外科的治療を受けた症例について記す)

甲状腺・副甲状腺疾患	
Basedow病	3
甲状腺乳頭癌	1
副腎疾患	
Cushing症候群	2
Preclinical Cushing症候群	1
原発性アルドステロン症	7
視床下部下垂体疾患	
先端巨大症	1

高度肥満	
袖状胃切除	3
計	18

4) 治療成績

5) 合併症例

6) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

死亡症例数	4
死因	脳髄膜炎
	前立腺癌
	肺癌
	気腫性腎盂腎炎
剖検数	2

7) 主な検査・処置・治療件数

糖代謝異常	
急性合併症 (ケトアシドーシス、ケトosis、高血糖高浸透圧昏睡) に対する処置・治療	26
糖尿病性足病変に対する処置・治療	8
甲状腺・副甲状腺疾患	
Basedow病に対するアイソトープ治療	30
巨大甲状腺腫に対するアイソトープ治療	1
副腎疾患	
各種副腎疾患に対する内分泌学的検査	
副腎偶発腫	21
Cushing症候群	2
Preclinical Cushing症候群	6
原発性アルドステロン症	22
褐色細胞腫	1
視床下部下垂体疾患	
各種視床下部下垂体疾患に対する内分泌学的検査	
汎下垂体機能低下症	3
先端巨大症	2
プロラクチノーマ	2
成長ホルモン分泌不全症	2
汎下垂体前葉機能低下症	10
性腺機能低下症	7

8) カンファレンス症例

(1) 診療科内

2月16日	Subclinical Cushing症候群
2月23日	¹³¹ Iアイソトープ治療
3月2日	糖尿病と歯周病
3月16日	著しい高インスリン血症を呈した糖尿病
3月28日	肥満外科治療
3月30日	インクレンチン作動薬
5月25日	メトホルミン

- 6月1日 慢性膵炎
- 6月15日 水中毒
- 6月22日 ACTH単独欠損
- 9月21日 汎下垂体機能低下症
- 9月28日 糖尿病足壊疽
- 10月5日 結核性胸膜炎
- 11月9日 低K血症と横紋筋融解症
- 11月30日 肥満症治療
- 12月7日 副腎偶発腫

(2) 他科との合同

内科モーニングカンファランス

- 1月27日 低血糖
- 2月15日 血糖高値
- 3月14日 頭痛
- 4月4日 肥満、副腎腫瘍
- 4月19日 全身倦怠感、食欲不振
- 5月23日 腹部膨満
- 5月31日 動悸
- 6月2日 体重減少、視力低下
- 6月20日 意識障害
- 9月12日 意識障害
- 10月18日 高血糖
- 10月31日 右足腫脹、倦怠感
- 11月10日 頭痛、全身倦怠感
- 11月28日 微熱、全身倦怠感
- 12月1日 四肢筋力低下

糖尿病センター合同カンファランス

- 3月3日 糖尿病に合併する冠動脈疾患の治療戦略
- 4月28日 糖尿病における脳血管障害のマネジメント
- 7月7日 ステロイド処方例へのインスリン使用の実際
- 10月13日 超音波検査を糖尿病血管評価にどのように役立てるか
- 12月14日 コーチングで変わる療養支援～寸劇を通して考える～

させていきたい。

- 2) 診療面では、新たな薬物の登場等に伴う治療法の進歩はみられるが、疾患の治癒をもたらすような画期的な先進治療に乏しいのが当該領域における医療の現状であり、問題点でもある。移植医療、再生医療、遺伝子治療等の臨床応用の機が熟したならば、積極的に新規治療の開発と導入とに取り組んでいきたい。
- 3) 糖尿病の蔓延防止とその合併症予防対策は昨今の医療行政の大きな柱のひとつとなっている。「糖尿病対策推進協議会」が設置され、糖尿病協会栃木県支部の事務局でもある当科にも、この方面への貢献が期待されている。

4. 事業計画・来年の目標等

- 1) 内分泌代謝疾患の診療は多くの診療科の協力なしには推進し得ない。例えば糖尿病性網膜症は眼科、糖尿病性腎症は腎臓内科、虚血性心疾患は循環器内科、足壊疽は整形外科・皮膚科、甲状腺・副甲状腺疾患は内分泌外科、副腎疾患は消化器外科・泌尿器科、下垂体疾患は脳外科等である。引き続きこれら診療科との連絡を密にとってよりよい診療体制を築いていきたい。2009年度からは糖尿病センターが発足した。2011年度は合同カンファランスを計5回開催し、引き続き当該疾患へのチーム医療を充実